

# **2022年合格目標 オリエンテーション講義 (小野講師)**

本講義は、2022年合格目標コースの本講義に入る前の「オリエンテーション」です。  
これからの学習内容や学習方法など、合格に向けた情報をお伝えしていきます。

↓資料を請求する↓



↓インターネットで申し込む↓



# 講義録レポート

講義録コード

02-22-3-S03-01

講 座	公認会計士	科目①	オリエンテーション
目標年	2022年合格目標	科目②	
コース	入門・基礎期	回 数	1 回
		通算回数	1 回
用 途	ビデオブース · 集合DVD WEB通信 · DVD通信 · 資料通信 · DL通信		

収録日	2020 年 3 月 20日			
講師名	小野 友輔 講師	内 訳	板書 枚数	3 枚 ※レポート含まず
			補助レジュメ 枚数	枚
			その他	枚

講義構成	前半 56 分 → 後半 34 分	
実施テスト	有 · <input checked="" type="radio"/> 無	
対応テスト	<ミニテスト>	( ) 第 回
	<答練・演習>	( ) 第 回
使用教材		オリエンテーション レジュメ
配布教材	オリエンテーション レジュメ	
備考		

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されています。

T A C 公認会計士講座

## ～memo～

---

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

TAC Wセミナー



# 公認会計士の魅力

女性が生涯輝ける資格 P54

合格実績

TACの強み

7つの強み

合格者講師

会計士の魅力

試験制度

合格実績

TACの強み

7つの強み

合格者講師

会計士の魅力

試験制度

1

## 安定性がある！

### 監査業務は公認会計士の独占業務！

公認会計士の代表的な業務と言えば財務諸表の監査業務ですが、この監査業務は公認会計士にしか行うことができない独占業務です。

財務諸表監査は、日本の資本市場の健全な発展を担う重要な役割を有しているため、独占業務を有する公認会計士は、景気に左右されにくく安定した需要があると言えます。



2

## 将来性が豊か！

### 価値ある経験が積める！

公認会計士は大企業を中心に、様々な業種のクライアントを監査します。そのため、日本を代表する製造業から時流の先端を行くIT企業まで、多様なビジネスモデルを広く深く理解することができます。

また会計の専門家として、経営層と接する機会にも恵まれており、年齢性別を問わずプロフェッショナルとして活躍できます。

### 将来の選択肢が広がる！

監査業務を通じて得た経験や知見は希少で価値が高く、コンサルティング、上場企業CFO、海外駐在、独立開業など将来の選択肢を広げることができます。自分が望むキャリアプランを自らデザインし、実現する力を公認会計士は有しています。

● 公認会計士のビジネスフィールド P52



3

## 社会的地位の高さ！

### 三大国家資格の一角！

公認会計士は、医師や弁護士と並び三大国家資格と言われています。

監査を通じて壮大なスケールで社会に貢献することができ、経済を支える「資本主義の番人」として重要な使命を担っています。難関試験であるがゆえに目指す価値がある、一生の資格と言えます。

### 監査法人は世界的にも人気の就職先！

世界4大会計事務所と提携する日本国内の監査法人

世界4大会計事務所	国内提携 監査法人
EY UK : London	EY新日本有限責任監査法人
Deloitte US : New York	有限責任監査法人トーマツ
KPMG NL : Amstelveen	有限責任あづさ監査法人
PwC UK : London	PwCあらた有限責任監査法人 PwC京都監査法人

国際的な会計事務所のうち、大手4社は「Big4」と呼ばれます。このBig4は世界150ヵ国以上にわたり大規模な会計ネットワークを展開しており、その知名度と国際性から、世界の大学生の就職先として極めて高い人気を有しています。日本では、上記の監査法人がそのメンバーファームとして提携しています。日本の公認会計士試験に合格し、監査法人に就職することで、世界的な会計プロフェッショナルファームの一員として活躍することができます。

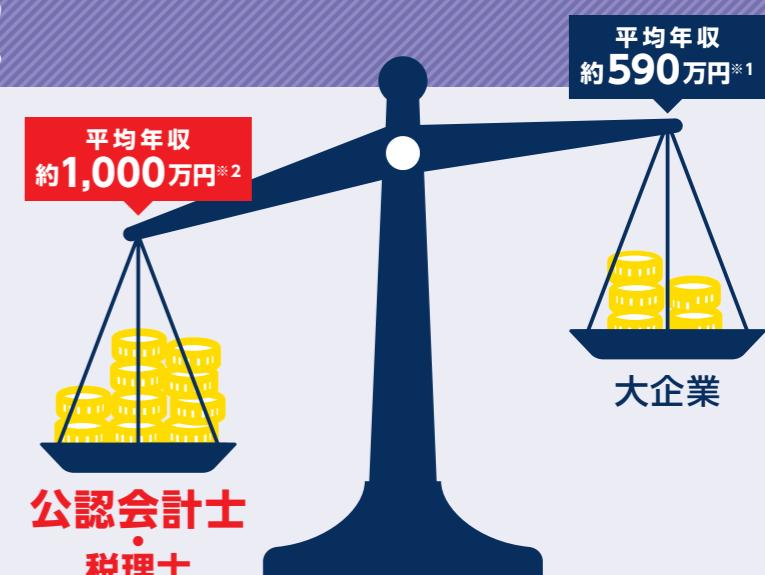
4

## 安心の収入！

### 高い平均年収！約1,000万円！

会計のプロフェッショナルとして、クライアントに対して高度な専門知識を提供する公認会計士には、その対価として高い報酬が支払われます。大企業の平均年収が約590万円程度であるのに対し、公認会計士は1,000万円以上の年収を得ることができるのも魅力の一つです。

また、生涯年収という点で考えれば、早く合格するほど収入面でも有利と言えます。



\*1 国税庁平成29年「民間賃給与実態統計調査」における賃本金10億円以上の会社。  
\*2 厚生労働省平成28～30年「賃金構造基本統計調査」における従業員1,000人以上の会社の公認会計士・税理士推定年収の平均(1,018万円)。なお、本文中の推定年収には、公認会計士ばかりに税理士も含まれていますが、両資格とも大きな開きはないと言われているため、ここで紹介しております。



# ますます広がる！公認会

# 計士のビジネスフィールド

近年高まる多様なニーズから、  
財務会計に精通し、監査業務という企業の社会的信用を支える公認会計士は、  
**その業務の幅をますます広げています！**

## 公認会計士のさらなるメリット

公認会計士は、登録をすることにより、  
**税理士・行政書士**の**資格を取得**することができ、  
**税理士・行政書士**の**独占業務**も行うことができます。

**会計知識を活かす！**  
**企業を内部からサポート**

企業内  
会計士

一般事業会社への就職にも強い！

経理・財務業務

公認会計士が持つ高度な会計・財務知識は、企業において中枢部とも言える経理・財務部門でまさに必須の知識です。企業の内部から、連結財務書類の作成や新会計基準への対応等、体系的な知識を活かすことができます。

一般事業会社への就職にも強い！

IR（インベスター・リレーションズ）

IRとは、企業が株主や投資家等に対して、公正な企業情報を適時に、そして継続して提供する活動のことです。IR担当者には、管理会計に精通し、かつ分析力や表現力といったものが問われますが、公認会計士の持つ知識やスキルは、これらの要求を十分にクリアするものです。

ニーズ大！

IFRS（国際財務）関連サービス

IFRSとは、世界的に多くの国が採用している会計処理のルールのこと、日本でも任意適用企業の拡大が続いている。各の対応速度に差はあるものの、着々とIFRSへの統合が進んでいる中で、会計の専門家である公認会計士の活躍できる新しいフィールドも広がっています。

ニーズ大！

株式公開支援（IPO）

独自の技術やノウハウを持った将来性のあるベンチャー企業等の株式公開支援を行うとともに、その企業の成長をサポートしていきます。証券取引所への新規上場数は、2009年度から増加傾向にあり、会計士に対するニーズも高まっています。

**監査経験**  
**企業を外部**

ニーズ大！

M&A

ある会社を買収するにあたって、被買収会社の財務内容をチェックしたり、商品別損益や商圏別損益の情報を把握すること等により、買収先企業と、買収を望む企業とのマッチングを図ります。

Trustサービス

近年企業では様々な経済活動を行う基盤としてITの果たす役割が大きくなっています。このような状況で、公認会計士は、企業のITの信頼性を保証する「Trustサービス」を提供し、社会からのニーズに応えています。

**を活かす！**  
**からサポート**

ニーズ大！

コンサルティング(MAS)

会計・財務に関する専門知識や経験、企業経営の豊富な情報を活かし、企業の経営全般にわたる助言や指導を行います。より高品質なコンサルティング・サービスで企業経営をサポートし、企業のあるべき姿とともに考え、実行まで支援するMAS業務へのニーズが近年急速に増えており、今後ますます有用な業務となるでしょう。

税務業務

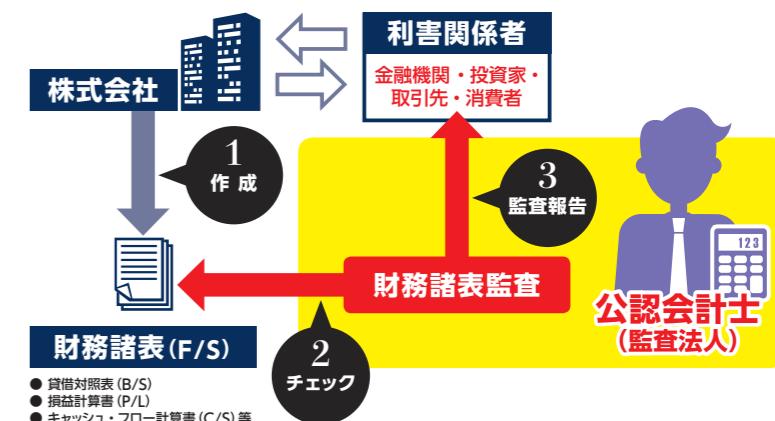
法人税法、所得税法、消費税法等多くの税法が存在するため、複雑多岐にわたる税務処理についての相談を受ける等、企業経営を側面からサポートしています。近年では国内に留まらず、企業の海外進出に対応して、国際税務サービスも重要なとなっています。

日本経済を支える会計のプロ！

## 監査法人

### 財務諸表監査

独占業務



### 内部統制監査

内部統制監査とは、企業等において、リスク管理や業務分掌、意思決定ルール等、経営目標を達成するために構築した内部統制システムについて、その機能の状況を確認し評価するものです。このような内部統制システムが本来どうあるべきか、正しい知識を持つ公認会計士だからこそ、これらを確認・評価し、適切な助言を行うことができるのです。

**一国一城の主**  
**独立開業・起業**

自ら会計事務所を開設したり、コンサルティング会社を興したりと、経験・知識を活かして独立し、活躍している公認会計士の方も多数いらっしゃいます。

# TACのコース一覧

## コース選択のPOINT 1

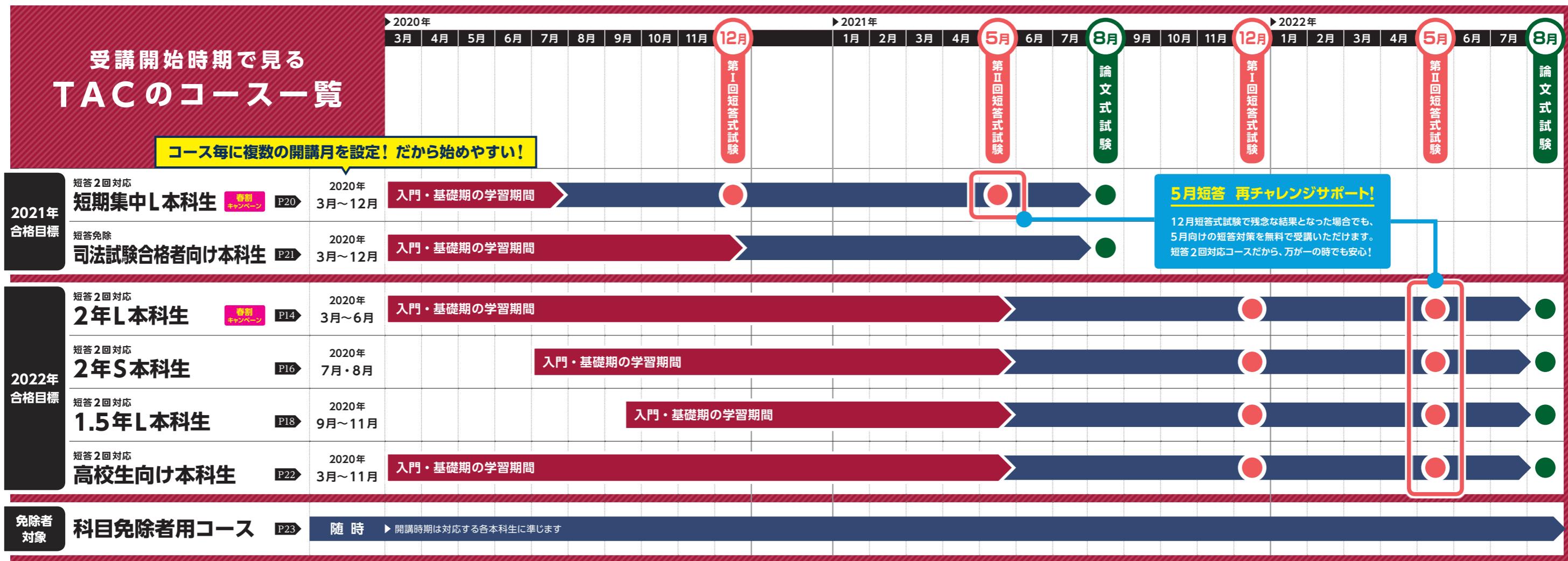
### 受験環境にあったコース選択が合格への最短ルート！

合格目標年度を決めるにあたっては、ご自身の受験環境に合った目標設定を行うことが大切です。学業の忙しい大学生や、働きながら目指す社会人の方は、ロングスパンのコースを選択することが基本です。

## コース選択のPOINT 2

### 入門・基礎期の学習期間をしっかり確保！

本試験問題の7～8割が入門・基礎期で学習する内容から出題されます。また上級期の講義は、入門・基礎期の学習を踏まえて講義を開いています。一発合格するためには、土台となる入門・基礎期の学習内容をしっかり習得することが重要です！



## コース選択 Q&A

### Q.1 何を基準に コースを 選択すれば 良いですか？

#### A. まずは論文式試験の受験年度を決めましょう

目標とする受験年度によって、学習ペースは大きく変化します。短期合格を目指すのであれば2021年合格目標を。ゆとりをもって学習するのであれば、2022年合格目標を選択するのが良いでしょう。1週間あたりの講義数の目安は、各コースページをご参照ください。

### Q.2 各コースの 違いは何ですか？

#### A. 学習期間が異なります。カリキュラムは同一です

各コースの学習内容・講義回数・教材等は同一です。早く開始するコースの方が、入門・基礎期の学習期間を長く確保できるため、ゆとりを持って学習できます。入門・基礎期終了後の5月以降は、上級期へと進み同一スケジュールとなります\*。

#### 簿記レベルとは？

TACではご自身の簿記・会計知識に応じてA～Dの開始スタートレベルを選べます P25  
簿記知識がない方でも、Aレベルから開始すれば安心して学習できます。

2022年論文合格目標 短答2回対応

学校や仕事と両立しやすいロングコース！

# 2年L本科生

入学時期 2020年3~6月 受講期間 約2年2ヶ月 総講義数 約320回

ポイント  
Point

## 春割キャンペーン

受講料 ~~¥70,000~~ 割引 実施中！

2020年春から公認会計士を目指すみなさんをトコトコ応援します！新生活がスタートするこの時期だからこそ、学習を始める絶好の機会です。TACで率先の良いスタートを切ってください！

<キャンペーン期間> 2020年2月19日(水)～6月1日(月)

## 学生から社会人まで、安心のロングコース

「2年L本科生」は、学校や仕事と両立しながら合格を目指せるTACのスタンダードコースです。学習期間を長めに設定しているので、土台となる「入門・基礎期」で学習する論点を確実に習得できます。

## 年2回実施の短答式試験に完全対応

12月の第1回短答式試験で合格すれば、論文式試験での一発合格の可能性を高めることができます。また、思うような結果が得られなかつた場合でも、「5月短答再チャレンジサポート」で短答対策を無料で受講でき、安心です。

5月短答  
再チャレンジ  
サポート！

## 安心の学習フォロー・就職サポート

学習期間中の質問制度をはじめ、様々な角度からみなさんをサポートします。また、就職活動に不安のある方も、年間を通して必要な時に就職対策を実施し、就職に必要な情報やスキルを身につけることができるので、安心です。

○ 学習フォロー P04 ○ 就職サポート P07

先取り学習  
サポート付

申込開始日 2020年2月19日(水) ★春割キャンペーン実施中！

全学習メディアにデジタル教材・音声DLフォロー標準装備！

### 通学メディア

教室講座

2020年3月開講予定

通常受講料

大学生協割引受講料

通常受講料

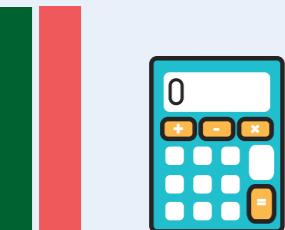
大学生協割引



# 試験科目ガイド

公認会計士を  
目指そう!  
CERTIFIED PUBLIC  
ACCOUNTANT

## 必須科目



### 財務会計論 [会計学★]

#### 計算 (簿記)

簿記とは、企業の日々の経営活動を記録・計算し、株主・取引先・銀行等の利害関係者にその財政状態や経営成績を決算書類を用いて報告するための手続です。

#### TACからのワンポイントアドバイス

#### 計算 (簿記)

解答できたか否かだけでなく、現在処理していることが簿記一巡の中でどのような意味があるのかを再確認することが重要です。

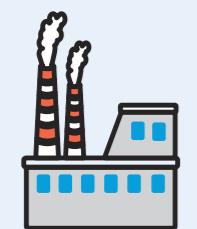
#### 理論 (財務諸表論)

学習した内容を記憶する作業を継続的に行いましょう。計算の答練を復習した後に、同じ範囲の理論について復習することも効果的です。



#### 理論 (財務諸表論)

計算 (簿記)で学習する会計処理は、「企業会計原則」等の会計基準に基づいて行われます。理論 (財務諸表論) では、会計基準の内容及び理論的背景、さらには理論的な対立等会計論について学びます。



### 管理会計論 [会計学★]

企業経営においては、経営者が将来の企業のあり方を計画したり、その成果が期待通りに進んでいるかを管理するための情報も必要です。管理会計論では、このような情報の収集・分析・報告を行うため、原価計算を中心とした会計システムについて学習します。



### 監査論

そもそも公認会計士という資格は、大企業が公表する決算書に「お墨付き」を与える業務である財務諸表監査を担うのにふさわしい者に与えられる資格として誕生しています。監査論では、公認会計士が備えるべき価値観を含め、財務諸表監査にまつわる様々なルールの内容や背景について扱います。



### 企業法

「企業法」という科目の中心は会社法です。会社法は、企業の組織・運営・活動等、企業を巡る様々な関係を規律する法律です。この中で特に重要なのは株式会社に関する規定で、主に株式会社の設立・運営から消滅に至るまでの諸規定を学習します。また、商法と金融商品取引法等も出題範囲に含まれます。



### 租税法

租税法では、監査証明業務を行うために必要な法人税法の計算・基礎理論を中心に、所得税法、消費税法等の構造的理解が問われることが明記されており、基礎的な計算問題も出題されます。



会計処理や数式処理など  
計算を中心に学習します



制度や基準、各種法律など  
理論を中心に学習します

## 選択科目 (論文式試験では、以下の4科目から) 1科目を選んで受験します



### 経営学

企業及び企業経営のあり方を研究する学問で、経営戦略論、モチベーション理論、リーダーシップ論、コーポレート・ガバナンス論、ファイナンス理論等、幅広いテーマを研究対象とします。時事的な問題が取り上げられることも多く、企業の最新動向に常に関心を払っておくことが大切です。



### 経済学

経済学は、企業や消費者の経済行動や、個々の財・サービスの需給に対する分析を行うミクロ経済学と、一国の経済全体または世界経済全体を分析するマクロ経済学に大別されます。分析は、現実経済をモデル化して行われます。



### 民 法

民法では、売買契約等の私達が日常行う行為を規律する法律を学習します。学習の目的は、条文の解釈や学説の対立点を理解することです。

**【重】**  
民法で受験をご検討されている皆様へ  
この度の民法大改正に伴い、学習面・実務面への大きな影響が今後予想されるため、他の選択科目での受験を推奨いたします。TACでは当面の間、民法の開講を見送りさせていただきます。(民法の科目免除をお持ちの方は、科目免除者としての登録は可能です)



### 統計学

統計学では、データ解析やファイナンス理論に必要となる記述統計、確率、推測統計、相関・回帰分析等に関して、データを用いた計算方法や確率を利用して統計的評価方法を学習します。

## 論文式試験科目

\*論文式試験では、財務会計論と管理会計論をあわせて、[会計学]として出題されます。

## 必見！選択科目の選び方

論文式試験では、選択科目4科目から1科目を選んで受験することになります。  
下に記載する各科目のメリット・デメリットや、学習量を基準にしてご自身に合う科目を選択してください。

	メリット	デメリット
経営学	学習量は他の科目の6割程度。試験委員の研究領域からの出題が多く見られるため、そこを中心とした学習で短期攻略が可能です。	△ ファイナンス理論は、経済学ほどではありませんが、ある程度の数学的知識が必要です。数学が苦手な方にとっては、その点がデメリットと言えます。
経済学	○ 数学的素養（特に微分）が一部求められますが、パターンを身につければ得点源となります。また、計算問題がメインのため、満点を狙うことができます。	△ 数学的素養がなくても学習できる範囲が増えていますが、微分や2次関数が苦手な方にとっては難解な科目となるでしょう。
民 法	○ 企業法の勉強が役立ちます。また、半分は基本的な出題ですから、合格点は確保できる科目です。	△ 学習量が多く、暗記が必要なので、地道な学習が必要です。大改正の影響から選択は得策ではありません。論述科目のため、高得点は取りにくいと言えます。
統計学	○ 統計学は暗記量が少ないため、数学が得意な方にとっては、短期間で試験対策できる科目です。	△ 問題を解く際に基礎事項を応用させる力が必要となります。応用問題よりも暗記重視型の問題の方が得意という方は不向きな科目と言えます。

**TACなら**  
**選択科目入門期  
試し受講**

選択科目を迷われている方に朗報です！  
選択科目は学習開始時に選んでいただきますが、悩んでいる方や実際に講義を受けてから決めたいという方のために、TACでは入門期に他の選択科目を受講することもできます。実際の講義に触れて、ご自身に合った科目を選ぶことができます。

ご利用方法の詳細は、お申込み後にお渡しする「受講ガイド」をご覧ください。

# オリエンテーションレジュメ

～ようこそ 公認会計士のフィールドへ～

# 公認会計士試験における財務会計論

公認会計士試験制度自体についての詳細な内容はパンフレット等を参照して頂くこととしまして、以下、財務会計論に関することを述べていきます。

## I. 短答式試験

### 1. 財務会計論

公認会計士試験は、短答式試験と論文式試験の二段階選抜となります。短答式試験の合格者のみが論文式試験を受けられますので、まずは短答式試験に合格しなければなりません。

短答式試験は以下の4科目が試験科目となります。

- ① 財務会計論
- ② 管理会計論
- ③ 監査論
- ④ 企業法

財務会計論は「簿記、財務諸表論、その他企業等の外部利害関係者の経済的・意思決定に役立つ情報を提供することを目的とする会計の理論」と位置付けられています。つまり、財務会計論は「主として財務諸表を作成するための理論と手法について出題される科目」です。

T A C の公認会計士講座では、入門及び基礎マスターにおいて、財務会計論における計算的な側面（以下、簿記と言います）を中心に学習します。なお、基礎マスターの最後には簿記だけではなく理論的な側面（以下、財務諸表論と言います）の学習もスタートします。

### 2. 試験内容

短答式試験において、財務会計論は「試験時間 120分、出題数40問以内、配点 200点」、他の短答式3科目は「試験時間60分、出題数20問以内、配点 100点」です。財務会計論は他の3科目より配点が2倍となりますので、重要性が高い科目といえます。短答式試験は4科目の総点数で合否判定が行われますが、中でも財務会計論はその比重が高い（200点÷500点=全体の4割）ことから、財務会計論を得意科目にすることが短答式試験の合格に近づく第一歩です。「**財務会計論を制する者が短答式試験を制する**」と言っても過言ではありません。

財務会計論の出題については、各分野・各論点から満遍なく出題されます。したがって、入門期から一つ一つの論点をしっかりと理解することが大切です。

## II. 論文式試験

### 1. 会計学

短答式試験に合格しますと、次に論文式試験を受験します。論文式試験は年に1回（8月）に実施され、以下の5科目が試験科目となります。

- ① 会計学 ② 監査論 ③ 企業法 ④ 租税法 ⑤ 選択科目

会計学は「財務会計論及び管理会計論」ですので、「財務会計論」は「会計学」に含まれます。

### 2. 試験内容

論文式試験において、会計学は「試験時間 300分、出題数大問5問、配点 300点」、他の論文式4科目は「試験時間 120分、出題数大問2問、配点 100点」となっています。会計学は他の4科目より配点が3倍となり、また、会計学のうち財務会計論は「試験時間 180分、出題数大問3問、配点 200点」と約7割の比重ですので、財務会計論は論文式試験においても重要性が高い科目といえます。科目合格をしていない場合には、論文式試験は5科目の総点数で合否判定が行われますが、その中でも比重が高い（ $200\text{点} \div 700\text{点} = \text{全体の約3割}$ ）ことから、「財務会計論を制する者が論文式試験を制する」、つまり、「財務会計論を制する者が公認会計士試験を制する」のです。

# 簿記の学び方

## I. 簿記の勉強方法

### 1. 講義について

公認会計士試験の短期合格を目指して、TAC独自のノウハウを駆使して作り上げられたカリキュラムに従って、講義を進めていきます。したがって、財務会計論を得意にするためには、まずは、講義についていくことが大切ですので、講義は休まず、必ず出席して下さい。

そして、講義内容をしっかりと復習し、学習した内容をマスターすることが、本試験で高得点を獲得することに繋がります。したがって、講義に出席した後に復習をしっかりと行なうことが重要です。

### 2. 復習について

以下のように学習を進めて下さい。

- (1) まず、講義で学習した各論点を理解するために、簿記一巡の手続を意識しながら、各処理方法を一つ一つ丁寧に覚えて下さい。その際にはただ暗記するのではなく、何故、その処理が行われるのか、といった処理の意味を考えると良いでしょう。
- (2) 次に、処理方法を理解したら、テキストの設例、基本例題やトレーニングを用いながら、問題を解いて下さい。問題演習を通じて、各論点の出題パターンや解答技法をマスターします。
- (3) 最後に、同じ問題を繰り返し解いて、問題を見ただけで処理方法及び解き方が頭に浮かび、解答のイメージが湧くようにして下さい。そうすれば自ずと解答時間も短縮するでしょう。そのためにも、各問題は「最低3回」は解いて下さい。
- (4) 復習を進める度に「復習管理表」に復習した日付を記入して下さい。「復習管理表」は復習の進捗状況を一覧できる表です。①講義後から次回講義まで②実力テストまで③上級までの3段階に分けて効果的に復習を進められるようになっていますので、自身の復習の目安に用いて下さい。なお、時間を空けてテキストの設例、基本例題やトレーニングの問題を解く際に、まずはテキストの該当範囲の内容を予め読むことなく解いてみてください。以前に学習した内容を思い出しながら解くことで、知識が定着していきます。内容を思い出せず問題が解けない場合はテキストの内容に戻って、忘れている箇所を確認して下さい。
- (5) 講義をより効率的に受けられるよう、学習進度表に「事前復習論点」を記載しています。事前復習論点はその回の講義において、前回の講義内容以外で特に復習が必要な論点になりますので、事前に復習した上で講義を受けるようにして下さい。

公認会計士試験に合格するためには、徹底した問題練習が必要であることを自覚し、しっかりと復習を行って下さい。

## II. 入門・基礎期の学習内容

### 1. 入門

入門では簿記の基礎を学習します。内容的には比較的簡単な論点が多いのですが、入門でしっかりと学習することが、基礎マスターへや上級に繋がっていきますので、気を抜かず、一つ一つの論点をしっかりとマスターして下さい。

入門の内容は、初めて簿記を学習する方を想定した学習内容となっております。なお、日商簿記との兼ね合いとしては、入門Ⅰが日商簿記3級の範囲すべて、入門Ⅱが日商簿記2級の範囲の一部を学習する内容となっております。

### 2. 基礎マスター（BM：ベーシック・マスター）

基礎マスターでは、簿記について難解な論点や特殊な論点を除いたほぼ全分野を学習します。基礎マスターで学習する各論点は、そのまま本試験に出題される可能性が高い論点ばかりですので、非常に重要です。また、内容的にも入門より難しい内容となりますので、講義を受けるだけでなく、しっかりと復習することが大切です。

## III. 上級期の学習内容

上級期では、入門・基礎期で学習するには難解であったり特殊な論点、又は横断的な論点を学習します。また、新しい会計制度が設けられた場合には随時、新しい論点を学習していきます。なお、上級期では短答式及び論文式本試験を想定したアウトプット・トレーニング（問題演習）を多く取り入れています。問題演習を通じて、短答式の問題や総合問題の解法を学習するとともに、試験における時間配分等を身につけて、本試験において合格点を獲得する実力を付けていきます。

# 入門 I の学習内容など

## I. テキストの学習内容・利用方法

### 1. 本コースの狙い

入門 I では、簿記を初めて学習する人を対象として、平易な取引を通して簿記一巡の手続をマスターすることを目的としています。したがって、学習に際してはまず個々の取引の処理を覚え、次にそれらを簿記一巡の手続の中で捉えていくことが大切です。なお、入門 I は日商簿記 3 級の試験範囲を網羅していますので、本コースをマスターすれば日商簿記 3 級を合格できる内容となっております。

### 2. テキストとトレーニングの使用方法について

- (1) まず、テキストを読んで個々の取引の処理方法をマスターして下さい。理解できたならば、次に、トレーニングに挑戦します。テキストの設例、基本例題は解答・解説を見ながら解いて結構ですが、トレーニングの問題はできる限り独立で解いて下さい。そして、トレーニングで分からぬ箇所はテキストに戻って復習して下さい。
- (2) トレーニングはテキストの確認と練習のための問題ですが、その中にはテキストの問題よりも少し難しい応用問題があります。しかし、少し考えれば解ける問題となっていますので、頑張って挑戦して下さい。

### 3. 簿記を初めて学習する方へ

まず、簿記とはどのようなものか、どのような処理を行うか、ということに慣れて下さい。その際に、頭で考えるよりも実際にペンを取って記帳しながら「体で覚える」ことが大切です。また、学習に際しては先入観を持たずに、あるがままをそのまま受け入れるという「素直な学習態度」も必要です。

### 4. 簿記を少し学習した方へ

頭の中では分かっていると思っていても、実際にペンを取って解いて下さい。そして、仕訳ができたならば「仕訳の意味するところ」を考えて下さい。また、できる限り仕訳をしないで済む方法を見つけて下さい。このようにすることによってスピードアップできます。

## II. ミニテスト

### 1. ミニテスト

ミニテストは前回の講義で最低限マスターしていただきたい論点について10分～20分程度の小問形式で実施する知識確認テストです。ミニテストができれば講義についてこれている証拠ですから、毎回ミニテストで満点をとることを目標に復習して下さい。

ミニテストはその時点での皆さんの理解度を測るもので、仮に思うようにできなくても、どの論点が理解できていないのかを知り、その論点を復習してマスターすることが皆さんの実力をアップさせることになります。したがって、ミニテストは出来不出来に関係なく、必ず毎回受け、必ず毎回提出して下さい。

### 2. 実力テスト

ミニテストが最低限の知識の確認であるのに対して、実力テストは「今までの学習の総まとめ+問題練習」のテストです。つまり、実力テストの内容は今までに学習した論点がまんべんなく入っていますし、レベルもトレーニングより難しい応用問題となります。

したがって、満点をとることは難しいかもしれません、7割程度はとることを目標にして受けて下さい。なお、実力テストは各コースの完成問題の一つでもあります。

## III. 参考（その他の問題演習など）

### 1. パワーアップ問題

上記のミニテストや実力テストの他に、基礎マスターにおいては、通常講義とは別に総合問題形式の「パワーアップ問題」演習があります。各单元における重要論点を、総合問題形式で定期的に出題していく予定です。やや難易度の高い問題もありますが、忘れずに受講するようにして下さい。

### 2. アクセス答練

上級期において、短答式試験及び論文式試験の計算問題対策として、アクセス答練を実施します。基礎期および上級期に学習した内容を網羅的に再確認する趣旨になります。校舎によりますが、主に早朝に実施する予定です。必ず受講しましょう。

### 3. 短答答練・論文答練

上級期において、本試験と同様の形式（短答式2時間、論文式3時間）の答練を実施します。計算と理論を合わせた形式での出題です。本試験における時間配分の練習にもなりますので、必ず受講しましょう。

## 4. 電卓を用意する

(1) 簿記を学ぶ上で電卓は必需品です。そこで、試験に向いている電卓の条件を挙げておきます。

- ① 12桁の計算ができること
- ② 太陽電池で動くこと（電池切れの心配がないこと）
- ③ メモリー機能があること
- ④ キー、又は、 キーがついていること
- ⑤ ルート ( $\sqrt{\phantom{x}}$ ) 機能があること
- ⑥ 手にあった大きさであること（一般の電卓より大きめが良いでしょう）

これらの条件は絶対的なものではありませんが、特別な理由のない限り、条件を満たす電卓を用意するのが良いでしょう。なお、条件に適した電卓をTAC受付にて割安で販売しております。まだ用意されてない方はTAC受付にて購入することをお薦めします。

(2) 参考（公認会計士本試験規定）

試験場においては、算盤及び以下①～⑥の基準の全てを満たす電卓の持込使用を認めています。

- ① 電源内蔵式で、音（音階、音声等）を発しないもの
- ② 数値を表示する部分がおおむね水平であり、表示部が周りの受験者に見えない程度のもの
- ③ 外形寸法がおおむね縦20cm×横20cm×高さ5cmを超えないもの
- ④ ケースやカバーが付いていないもの（ケースやカバーは取り外すこと）
- ⑤ 計算機能以外の機能を有しないもの
- ⑥ 以下ア～エに掲げる機能を有しないもの
  - ア プログラム入力・記憶機能
  - イ 関数電卓機能
  - ウ 紙に記録する機能
  - エ 漢字・カナ・英字入力機能

(注) 例えば、以下の機能については、上記ア～エの機能に該当しないため、試験場での使用は可能です。

- ・ GT, C, AC, MC, MR, M+, M-, MU, MD, RV,  $\sqrt{\phantom{x}}$ , %などのキー
- ・ 税計算機能（税込、税抜計算ができる機能）
- ・ 日数計算機能（期間計算や期日計算ができる機能）
- ・ 時間計算機能（時・分・秒の加減乗除ができる機能）
- ・ 換算機能（通貨、単位など任意の換算レートを設定して換算できる機能）
- ・ カウンター付演算状態表示機能（入力件数の多い計算でも入力した数値の個数や演算状態の表示により計算過程の確認が一目でできる機能）
- ・ アンサーチェック（検算）機能（1回前の計算結果と答えを自動的に照合できる機能）
- ・ キーロールオーバー（早打ち）機能（先に押したキーから指を離す前に次のキーを押しても入力を受け付ける機能）
- ・ 計算続行機能（計算の中止で消えた画面を再表示する機能）
- ・ オートレビュー機能（自動的に計算過程の確認と訂正ができる機能）

## 公認会計士

## 講義録

コース  
講義等

入門・基礎

科目

オリエンテーション

回数

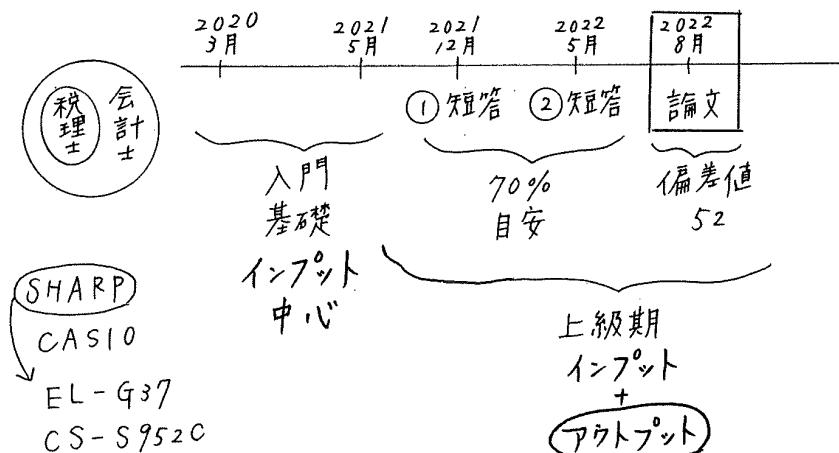
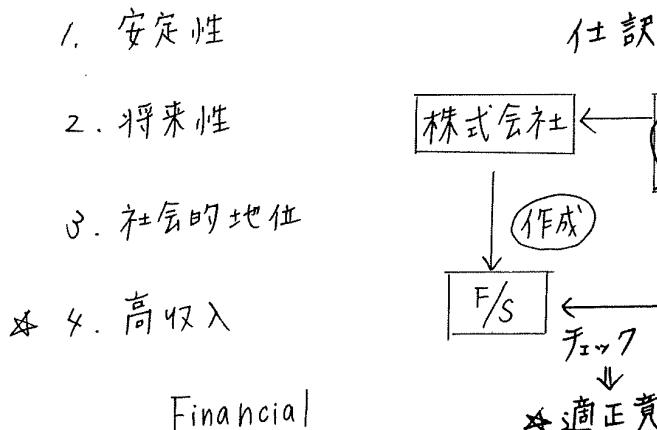
配布物

- ★ テスト類 : [ ]
- ★ その他の配布物 1 : [ ]
- ★ その他の配布物 2 : [ ]

講師

小野先生

## 黒板内容



# 公認会計士

## 講義録

コース  
講義等

入門・基礎

科  
目

オリエンテーション

回  
数

配  
布  
物

★テス  
ト類 : [  
★その他の配布物1 : [  
★その他の配布物2 : [

] ] ]

講  
師

小野  
先生

### 黒板内容

